

## 令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年8月25日（木）現在

### 【 果 樹 】

#### < モ モ >

日量ベースの入荷量は減少推移も、末端での消費も鈍く依然として緩慢な動きが続いている。

川中島白桃：特秀 15 玉 2,800 円 ～ 3,000 円 青秀 2,500 円 ～ 2,700 円

黄金桃： 特選 16 玉 3,700 円 ～ 4,000 円 特秀 3,500 円 ～ 3,800 円

#### < ナ シ >

量販店での売れ行き鈍く、主要な仲卸中心に引き合いは落ち着いている状況。福島産日々増量最盛期を見込む中で、相場を弱める展開となっている。

特秀 32 玉 4,500 円 秀 4,000 円

### 【 野 菜 】

#### < きゅうり >

東北産夏秋作が成り疲れから減少傾向となっており、また、露地作を中心に下等級比率の増加によりA品を中心に不足感が見られ、相場はジリ上げの展開となっている。

今後は、東北産夏秋作は終盤のためさらに減少となる見込みだが、関東産抑制作の入荷が開始となるため、相場は強保合程度で荷動きを抑制しすぎないように慎重な販売が続く見通し。

@A 1,900 ～ 1,700 円

#### < ミニトマト >

茨城県産の抑制作の出荷が始まりとなるが、気温低下による各産地の減少幅の方が大きい見込み。学校給食の需要により不足感から相場は強まる見通し。

@AM 170 ～ 150 円